

乾徳山山行報告

(山 域) 奥秩父 乾徳山

(コース) 徳和⇄錦晶水⇄国師が原⇄扇平⇄乾徳山山頂 (往復ルート)

(日 時) 平成 28 年 11 月 3 日 (木)

(天 候) 快晴

(参加者) C L 田中 (記録)・菅井・滝本

(山行タイム) 市原田中宅 5 : 00 ⇒ 千葉駅北口 5 : 50 ⇒ 徳和駐車場 8 : 50 着 9 : 15 発 ⇒ 登山口 9 : 35 ⇒ 国師が原 11 : 00 ⇒ 乾徳山山頂 13 : 00 着 13 : 20 発 ⇒ 往路を下山 ⇒ 登山口 15 : 52 ⇒ 徳和駐車場着 16 : 15 ⇒ 途中入浴 ⇒ 往路を帰還する。 ⇒ 千葉駅 21 : 30 ⇒ 市原田中宅 22 : 00 着

(山行報告) 今回の目的は脚力維持と 7 時間ほどの長時間歩行の気力維持の為に乾徳山を選んで募集したところ 2 名の方から応募が有り悪天後の快晴を狙い日帰りの山行を行った。



田中自宅を 5 : 00 に出発して千葉駅北口で S さん・ T さんを乗せて高速にて一路、秩父を目指して行く、途中で一部の渋滞も有ったが予定通り 9 時頃に徳和集落について無料の駐車場 20 台ほどのスペースに辛うじて残り数台で停めることが出来た。(近くに 2 か所程先に行くと駐車スペースは有る。) トイレ (トイレは道路の反対側の石碑の奥に有りトイレ標識あり) を済まして軽い体操の後に歩き出す。

最初は舗装道路だが神社を過ぎる頃から砂利道（林道）の様になり、20分ほどで登山口に着く、此处から林間の中の道を銀晶水～駒止～錦晶水～国師が原へと進むが私は銀晶水よりは錦晶水の方が水量も多く好きな水であり一口を頂く。

錦晶水から10分ほどで国師が原に着き、快晴の中に聳える岩壁を抱く乾徳山山頂を望む事が出来き、3人で記念写真を撮り国師が原避難小屋の分岐で休憩をとる。



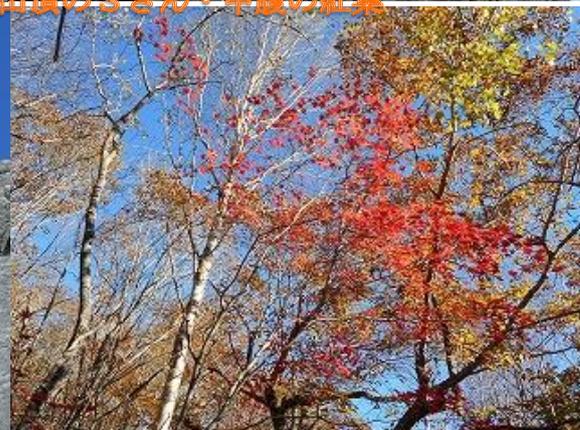
国師が原・乾徳山頂・避難小屋とSさん



この先は扇平から尾根伝いにカミソリ岩・カミナリ岩等の大小の岩場を通過しながら最後の頂上岩場20mほどを登れば山頂に突き出る。Tさん×2は岩場伝いにSさんは左の巻道から山頂を踏んだ。



頂上岩場のTさん・山頂のSさん・中腹の紅葉



ここで記念写真を撮り、快晴の中、富士山・秩父の山並み・雪の着いた南アの山々を堪能し、帰路についた。帰りもT×2は岩場下降・Sさんは巻道から降りて往路を慎重に膝を労りながら徳和に帰り着く事が出来た。帰りは笛吹の湯につかり、汗を流して帰途についた。途中は渋滞もあまり無く、都内もスイスイと流れ、22時には自宅に帰りついた。